

必要なのは、世界級の実現力。

～失敗の数だけ成長する。ゼミをその実践の場に～

2010年1月、石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール開講

なぜ、日本人は国際会議で存在感を示せないのでしょうか。

石倉洋子さんは「失敗を怖れる気持ちと経験不足」を理由のひとつに挙げます。

このゼミの目的は、世界が直面する問題(グローバル・アジェンダ)について

世界の人々と議論し、協働して解決に取り組む力を身につけること。

失敗を怖れずに発言し、行動する勇氣、

世界級の表現力やディスカッションルールを実践を通じて学ぶワークショップです。

「ここで場数を踏み、世界を目指してほしい」。

メインファシリテーター・石倉洋子さんのインタビューから印象的な言葉を拾い、

そこに込められた思いを紹介します。



「原動力は、新しいことへの好奇心」

石倉さんが国際会議のファシリテーターとして世界で活躍するようになったきっかけは、大学時代の留学経験。子どもの頃から「新しいことはなんでもやってみたいと思うタイプ。留学もそのひとつだった」という。その好奇心が世界的なキャリアを築く原動力になっている。

「語学は頻度。失敗を怖れず、使うこと」

「英語が苦手だから…」と尻込みする人に、石倉さんは「英語の上手下手なんて全然関係ない。英語は道具。使えば使うほどうまくなります。要は場数を踏むこと。間違ってもいい、恥をかいてもいい、そんな気持ちでゼミに参加してほしい。失敗するから覚えるのです」と励ます。

「ダボス会議のフォーマットを体感してほしい」

「毎年ダボス会議で新しいことを仕入れてくる」という石倉さん。特にインスパイア(啓発、鼓舞)されるのは「毎年進化するブレインストーミングなどの新しいフォーマット(形式)」。自ら体験してわくわくしたワークショップのやり方をゼミにもどンドン取り入れる。「いづれダボス会議のような場で、世界の人たちと討議する練習台にしてほしい」。

「バカな質問なんてない、何を言ってもいい」

日本人は国際会議などで発言や質問が少ないと言われる。石倉さん曰く、「空気を読んで、それに添ったことを言おうとか、きちんとしたことを言おう



とか、考えないほうがいい。海外の人たちは(日本人からみたら)とんでもないことも言うのよ。とんでもないことからアイデアが生まれるんだから、それでいいの」。このゼミでは「何を言ってもいいのかわからない」を、「何を言ってもいいんだ」に発想転換させる。

「ここで失敗を重ね、場数を踏んで、世界へ」

石倉さんは、ダボス会議にもっと日本の若い世代のリーダーを送り込みたいと考えている。「国際舞台で活躍できる人を探し出し、支えることが私の役回り」といい、それには「世界でいま、何が起きているかを知り、話し合う場をつくるのが大事」と、グローバル・アジェンダ・ゼミナールを開講することに。「場数を踏むこと」の大切さを実感しているからだ。

石倉洋子さんからのメッセージ

「世界で活躍したい人、仕事の枠を越えて世界が直面している問題について考え、解決策を議論したい人。何でもチャレンジしたい人。自分の実力を発見し、世界のどこでも自分の力を発揮できるようになりたい人、Will(～したい)という意欲を持った人、ぜひここに集まってください。

このゼミナールでは、世界が直面する問題について当事者から話を聞き、ゼロベースで課題を考え、解決策を討論し、アイデアを出し合います。世界のディスカッションルールや新しいブレインストーミングの方法を学びながら、英語でのプレゼンテーションや討論に挑戦しましょう。最初の失敗をここで経験してほしい。ここで場数を踏んで、ダボスを、世界を、目指しましょう」。

石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナールとは

ビジネスパーソンに必須の、「実現力」を高めるプログラム開講

「石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール」とは、一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授である石倉洋子氏をメインファシリテーターとして、世界規模で直面している貧困・環境・人権といった問題（グローバル・アジェンダ）を議論することにより、ビジネスパーソンに必須の「実現力」を身につけることを目的としたワークショップ型の1年間のプログラムです。

2009年9月4日、ニューヨーク、北京に次いで3つ目のオフィスとして「日本事務所」が六本木ヒルズ森タワー49階アカデミーヒルズ内に設置されました。日本人がダボス会議のような場に積極的に参加しプレゼンスを上げることは、国際社会で日本の存在感を高める為に重要ですが、そのような知性と影響力を持つ「個人」は多くありません。

今回、世界経済フォーラム日本事務所の協力により、ダボス会議等で用いられる素材と最新のディスカッション手法を取り入れ、議論を実践する機会を提供し、グローバルリーダーを目指すビジネスパーソンが「課題設定力」「問題解決力」「情報発信力」を身につけ、その力を世界級の「実現力」にするための「場」を創ることを目指します。

石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール3つのステップ

STEP 1

Setting the Global Agenda

グローバル・アジェンダに取り組むプロフェッショナルからのインプットにより、問題を知り、考え、自分たちで取り組む課題を設定する。

STEP 2

Finding Solutions

世界経済フォーラムのリソースや議論スタイルを活用し、自分たちで解決策を考える。

STEP 3

Proposals for Action

プレゼンテーションを行い、実現に向けて提案をする。

講師陣

メインファシリテーター

石倉 洋子 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授



1980年バージニア大学大学院経営学修士(MBA)修了。1985年ハーバード大学大学院 経営学博士(DBA)修了。1985年からマツキンゼー社でマネジャー。1992年より青山学院大学国際政治経済学部教授、2000年より一橋大

学大学院国際企業戦略研究科教授。その他、商船三井社外取締役、世界経済フォーラム(ダボス会議)のフェロー等。専門は経営戦略、グローバル競争におけるイノベーション戦略。

アドバイザー・ボード

黒川 清 政策研究大学院大学教授 特定非営利活動法人日本医療政策機構 代表理事

竹内 弘高 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 研究科長・教授

竹中 平蔵 アカデミーヒルズ理事長/慶應義塾大学教授

ゲスト講師

土井 香苗 国際人権NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター(日本代表)/弁護士

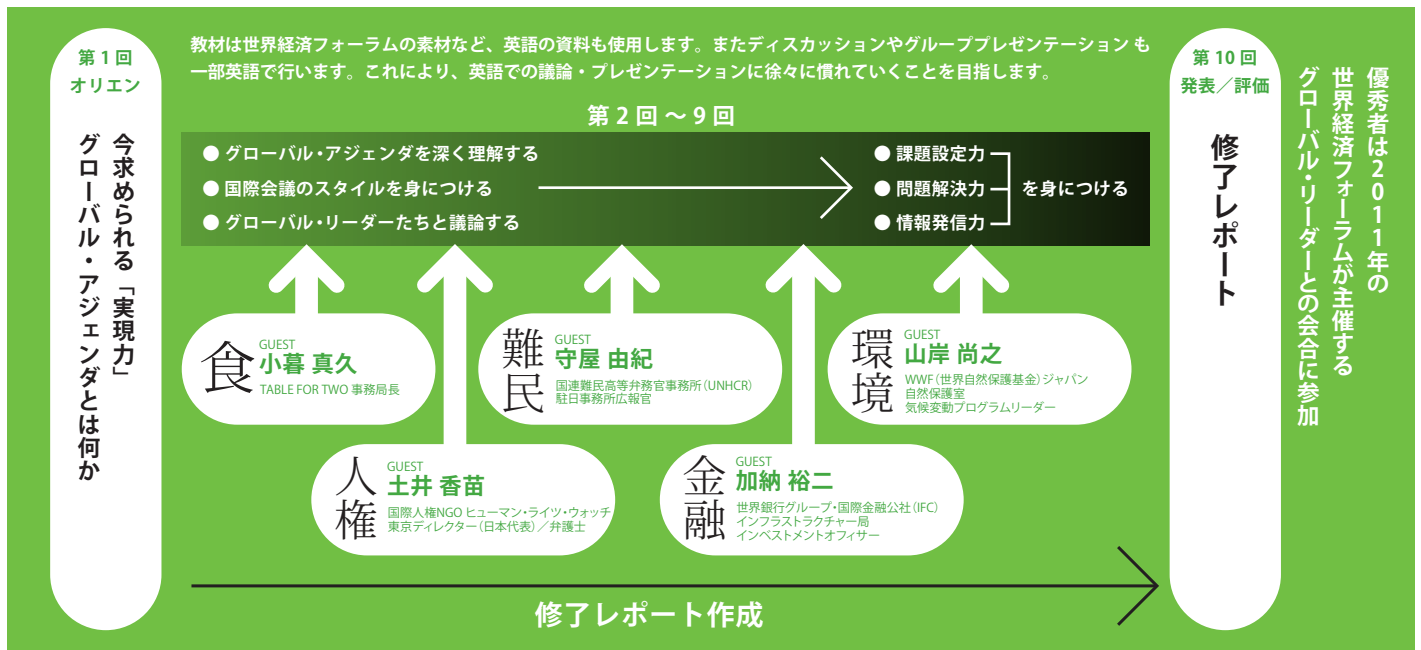
小暮 真久 TABLE FOR TWO 事務局長

守屋 由紀 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所広報官

加納 裕二 世界銀行グループ・国際金融公社(IFC)インフラストラクチャー局 インベストメントオフィサー

山岸 尚之 WWF(世界自然保護基金)ジャパン自然保護室 気候変動プログラムリーダー

プログラム



■ ファシリテーターの石倉洋子氏と、個々のグローバル・アジェンダに最前線で取り組まれているゲスト講師陣からの講義によって、それぞれのテーマについてのインプットがあります。

■ ゼミ生は、個別のテーマに対応した形で、それぞれ課題設定、問題解決につなげるために何が出来るかについてディスカッションやプレゼンテーションを行います。その過程で自分で課題設定する力、問題解決のためには何が必要かを考える力を身につけます。

■ また同時に、2010年12月の発表に向けて、個人で修了レポートにも取り組みます。レポートのテーマは必ずしもゲスト講師から受ける講義の内容に限定しません。幅広い問題意識の中から自身でグローバル・アジェンダを設定し、年間のプログラムを通して学んだことを基礎にしながらレポートを作成します。

■ 教材は世界経済フォーラムの素材など、英語の資料も使用します。またディスカッションやグループプレゼンテーションも一部英語で行います。これにより、英語での議論・プレゼンテーションに徐々に慣れていくことを目指します。

■ グループによるプレゼンテーションと個人で取り組む修了レポートを通じて、自ら設定した課題と導き出した解決策について、分かりやすく情報発信する能力を身につけます。

■ 修了レポートの優秀者は、世界経済フォーラムが主催する関連会合へ参加が可能です。

募集要項

| | | | |
|------|--|-------|--|
| 期 間 | 1年間(2010年1月～2010年12月末) ※原則毎月第一土曜日開催 全10回 | 定 員 | 50名 |
| 会 場 | アカデミーヒルズ (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階) | 受 講 料 | 315,000円(税込) ※六本木ライブラリー・コミュニティメンバー年会費(105,000円)含む。 |
| 応募資格 | ・ グローバル・アジェンダに興味がある方 ・ 期間を通して積極的に活動に取り組み、「実現力」を高めたいと考える方 ・ 英語による議論に参加する意欲のある方 ・ 満20歳以上の個人の方 | 主 催 | 森ビル株式会社 アカデミーヒルズ |
| | | 協 力 | 世界経済フォーラム 日本事務所 |
| | | お 申 込 | Webにて受付 http://www.academyhills.com 11月30日(月)締め切り |

ご取材、見学に関する詳細はお問い合わせください。

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ事業部 深町 友子

TEL: **03-6406-6649** FAX: **03-6406-9350**

MAIL: academyhills-PR@mori.co.jp URL: www.academyhills.com